

ふくい 社会福祉

ふれあいネットワーク

6

No.381



温故知新 ～一途に社協道～

この谷のこの土を喰い
この風に吹かれて生きたい

画家 渡辺 淳さん (おおい町)

単身、佐分利谷奥の山にこもり、炭焼きをする傍ら、独学で絵を描いてきました。夜はランプの光を頼りに窓のない薄暗い小屋の中で描き続けてきました。

もともと描くことが好きで、雑誌に掲載されている美人画の模写を中心に描いていましたが、国民学校二年生のころ、一級下の男の子から「おなごの絵描きさんが疎開してきとらんす」と聞き、紹介してもらいました。その絵描きさんは、院展の院友である先生に師事し、その塾で美人画を描いているとのこと。私は「そんなら僕も美人画なので一緒ですね」と言ったのですが、今思えば何と失礼なことを言ったのかと思います。

それからは学校の帰りはいつも先生のお宅と一緒に写生をし、忠実に描くことの大切さを厳しく教わりました。先生に出会わなかったら小器用に模写だけに終わっていたに違いないし、素晴らし出会いをいただいたと感謝しています。

そして、人生の大きな転機となった出会いがもう一つあります。それは、直木賞作家である水上勉先生との出会いです。ある日突然、炭焼き小屋に水上先生が訪ねてこられ、私の描いたものを見せて「欲しい」と言われました。

窓もない物置のようなところに蛍光灯が一つあるだけ。そして、描く絵は炭焼きの窯の絵であったため、暗い印象を与えたのでしょう。先生は「よう、こんな暗いところで絵が描けるな」と言われましたが、帰り際に靴ひもを結びながら「小説の挿絵を描いてくれんか」と言われました。以来、水上先生の作品70冊を装丁する仕事をさせてもらいました。

今は、おおい町・佐分利川上流の山郷で、土地の匂いに浸り、一途にふるさとを描きながら、絵画教室で地元の子どもに絵を教えています。子ども達からはたくさんの刺激と感動をもらっています。

若狭の山奥に生きてきて随分と多くの人に出会い、助けられ、そして教えられました。

これからも、「この谷のこの土を喰い この風に吹かれて生きたい」と思います。



表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。



【人材マッチング支援】移動相談：4地区、172回、参加者252名／事業所訪問：196日、302か所／アドバイザー派遣

【人材新規就業支援】介護福祉士コース：求人132名、求職145名、採用者45名／ホームヘルパー2級コース：求人137名、求職102名、採用者47名



【ふくい福祉就職フェア】年2回、参加92事業所、参加者311名、就職者32名

【地域密着型面接会】県内4地区、参加103事業所、参加者221名、就職者32名

【ふくしの仕事まるわかり講座】5コース、受講者70名

【無料職業紹介】求人1,546件(2,810名)、求職1,062名、紹介413名、就職者175名／相談5,948件、夜間相談69件

【巡回訪問】施設：42か所／学校訪問説明会：参加者376名

【調査研究】保育士・看護師資格者調査：対象600名

◆介護実習・普及センター

【調査研究】潜在介護職：対象4,254名

【潜在有資格者等研修】2事業、6回、受講者48名

3 福祉事業の経営に関する相談支援体制の強化

◆福祉施設経営指導

【巡回訪問】54法人、相談件数680件

【研修・セミナー】6事業、受講者357名

【経営支援】経営指標・分析表づくり／経営指導連絡協議会の開催：年2回

4 福祉サービスの評価・公表制度等を活かした事業所支援

◆介護サービス情報の公表

【指定情報公表センター】公表171事業所

◆福祉サービス第三者評価・地域密着型サービス外部評価

【第三者評価推進組織】基準等委員会：年1回、セミナー等：2事業、受講者104名／評価事業：確定2事業所、継続評価3事業所

【地域密着型外部評価】認知症グループホーム44事業所、小規模多機能型居宅介護施設42事業所

◆職場環境・働く意欲づくりへ

【福利厚生センター】加入43法人、加入者2,097名／会員交流企画：16事業、参加者1,870名／関連企画：14事業、参加者2,050名

【施設職員退職共済事業】加入181法人(468事業所)、加入者6,918名

5 県域の福祉ネットワーク組織や職能団体への支援

【各種別協議会活動への協力、助成】

【異業種福祉実践(職員交流)研修】参加者12名

【施設の災害対策づくり】災害対策の手引作成

6 福祉サービスの苦情解決の機能と支援体制の強化

【運営適正化委員会】年6回、事業報告作成

【研修】2回、参加者220名

【事業所訪問相談】訪問32事業所／調査6か所

【苦情・相談の受付】苦情34件、一般相談14件

7 総合相談・自立生活支援体制の強化

◆生活福祉資金貸付

【貸付】申込184件(承認182件)、貸付決定額55,941千円

【相談】2,637件(各資金計)、専任相談員配置14名(県2名、市町12名)／償還指導180名、督促件数1,284件

◆日常生活自立支援

【相談、利用契約・研修】相談12,678件、契約149件(累計966件、利用者480名)／研修：7回、受講者373名

8 相談・支援機関とのネットワークの強化

【各種専門相談窓口の開設】5分野

【福祉用具・住宅改修】専門相談員の登録61名、出張相談8件(派遣14名)

Ⅳ 元気で信頼される福井県社協づくり

1 事業活動や経営に参画する仕組みの強化

【役員会等の開催】正副会長会議1回、理事会3回、評議員会2回、予算対策活動、監事監査・監査委員監査

◆創設60周年記念事業

【記念誌の編纂】発行3,000部

【講演会・式典等】特別講演会：参加

者5,000名／記念式典・感謝の集い：参加者250名

2 発展強化を図る経営分析等の仕組みづくり

◆「つないでキラリ☆プロジェクト」(局内研究活動)の推進

【記念誌編纂】年5回、メンバー9名

【記念事業企画運営】年3回、メンバー11名

【小規模事業所人材育成事業の構想】年8回、メンバー9名

【福祉人材コーディネート事業の構想】年5回、11名

3 業務の目標管理、職員のスキルアップ、コミュニケーション

【職員の業務・育成支援システムの試行】

【スキルアップ(Off-JT)研修派遣】7コース、受講者11名

【社内マガジンの発行】年4回

4 財務活動の推進と情報開示

【各種基金の運用】4基金／チャリティアート展：協賛205名(261作品)、福祉車両寄贈：6台

【広報誌の発行】年10回、1回3,600部

【ファクス情報配信】年21回

5 顕彰等を通じた関係者との信頼関係づくり

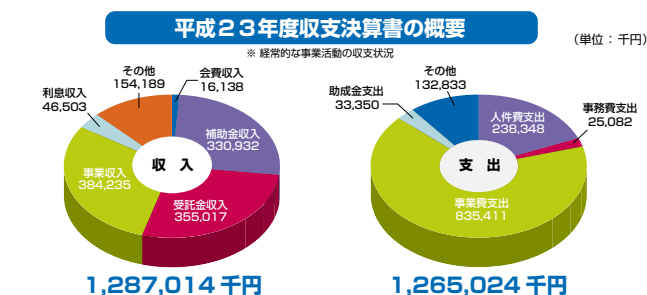
【県社会福祉大会表彰】個人212名、17団体

【全国社会福祉大会表彰推薦】個人38名、3団体

6 福井県社会福祉センター指定管理業務の推進

【サービス向上・利用促進】サービス向上委員会、グリーンカーテン設置、ボイラー機器入替、大型案内モニター設置等

【福祉体験学習受入】年16回、参加者355名



平成23年度決算による福井県社会福祉協議会の経常的な事業活動のための収支状況について、その概要(イメージ)をご理解いただくためにグラフとして表現したものです。
「その他収入」および「その他支出」については、それぞれ資金移動にかかる繰入金収入・支出(いずれも117,791千円)が含まれます。

平成
23年度

事業報告

平成 23 年度は、「第 3 次ふくい地域福祉プラン 21（5 か年計画）」[2 年次]に基づく事業活動に加え、県社協創設 60 周年記念事業や東日本大震災への対応など、時宜の課題にも積極的に取り組んだ。事業の概要は以下のとおり。

I 福井でのすこやかな暮らしを支えるつながりの輪づくり

1 つながりの輪で支えあう県民意識の創造

◆すこやか長寿センター

[チャレンジ塾] 23 塾（364 名）、活動発表（シニア・アート展）147 点

[高齢者リーダーバンク] 登録：個人 84 名、34 団体

[パソコン講習] 9 コース、受講者 454 名、無料相談室：5 回、43 名

[全国健康福祉祭（熊本大会）選手派遣] 155 名

[ふくい健康長寿祭 2011（敦賀市）開催] 参加者 3,521 名

[広報誌「福悠人」発行] 年 4 回（1 回 21 万部）

[高齢者ラジオ放送講座] 受講者 118 名



◆介護実習・普及センター

[家庭介護・介護出前講座／高齢者介護講演] 25 回、受講者 450 名／83 回、受講者 1,973 名／受講者 197 名

2 地域でつながりの輪づくりに参加する人材の発掘と養成

[コミュニティパートナーの養成] 年 1 回、受講者 182 名

[地域支え合い人材の養成] カリキュラム策定、教材作成

[指導者養成研修] 2 コース、受講者 68 名

3 「つなげボランティアの輪推進運動」の啓発

[広報啓発] ポスター・チラシ、テレビ CM・ラジオ放送等

[エコキャップアートコンテスト] 応募 63 点（入賞 7 点）

[サマーボランティア体験] 161 メニュー、

参加者 337 名

[ボランティア作文コンクール] 応募

1,304 点（入選 18 点）

[創設 60 周年記念「ふくいつながりフェスタ 2011」] 来場者 6,000 名、福祉大会・車両贈呈・記念講演・体験コーナー等

[まごころ基金助成] 30 団体、助成額 5,209 千円

[まちづくり企画] 公募 15 企画（公開プレゼン 3 企画）



4 地域ぐるみの「福祉教育」の推進

[地域ぐるみの福祉教育推進助成]

17 市町社協への助成

5 地縁・知縁のつながりを広げる協働・共同の場づくり

◆ボランティアカフェの運営

[相談・情報提供] 利用者 7,028 名

[カフェ講座] 2 講座、受講者 24 名

◆関係機関との連携・協働

[民生委員児童委員活動]、[企業等ボランティア・社会貢献連絡会]、[県災害ボランティアセンター連絡会]



II 福井の福祉活動をけん引する社協のブランドづくり

1 住民の福祉活動を支える社協の「見える化」の推進

◆市町社協との協働

[県市町社協会長会] 被災地社協支援金募金 1,175 千円（岩手県陸前高田市社協に寄附）

[会長・事務局長会議] 年 1 回、参加者 43 名

[市町社協課題解決戦略会議] 年 2 回、参加者 53 名

[市町社協トップセミナー] 年 1 回、参加者 50 名

[ボランティアセンター実践研究会] 年 2 回、参加者 40 名

2 住民の福祉活動を応援するワーカーのスキルアップ

[社協ワーカー養成研修] 3 コース、受講者 34 名

[ボランティアコーディネーター研修] 年 1 回、39 名

3 住民の福祉活動を活かした地域のセーフティネットの構築

◆災害時における社協相互支援体制づくり

[実地訓練] 検討会 3 回、一斉訓練、総括会議 1 回

◆地域コミュニティ再生のための災害支援活動

[被災地への職員派遣] 派遣期間 159 日間、延 898 名

[3.11 希望の灯り分灯] 現地（岩手県

陸前高田市）での分灯、オリジナル燭台制作、県内 17 市町社協への再分灯

◆地域で支えるセーフティネットづくり

[勉強会] 年 1 回、参加者 55 名

4 市町社協を元気にする経営課題の分析と支援策の強化

[ステップアップミーティング] 年 17 回、参加者 116 名

5 市町社協の「見える化」への支援

◆社協による地域福祉推進研究活動

[小地域福祉活動] 年 5 回、実践記録様式・手順等づくり

[社協組織・事業強化] 年 2 回、住民評価指標づくり

[東海北陸ブロック社協職員研究集会開催] 参加者 162 名



III 福井の福祉を高い専門性で支えるサービスの基盤づくり

1 福井の福祉・介護を支える専門職像の明示と育成策の強化

◆社会福祉研修所

[独自研修] 22 事業（25 コース）、63 日、受講者 1,612 名

[受託研修] 16 事業（20 コース）、194 日、受講者 1,995 名

[介護支援専門員実務研修受講試験] 受講者 1,009 名

◆介護実習・普及センター

[介護職員等研修] 4 事業、105 回、受講者 3,492 名

2 福井の福祉・介護を支える人材の発掘と定着の強化

◆福祉人材センター

[介護福祉士等修学資金貸付] 25 名、貸付額 40,200 千円

任期満了に伴う福井県社協役員・評議員の改選

清川忠会長が再任

会長就任（再任）にあたって



福井県社会福祉協議会

会長 清川 忠

この度、三期目の会長を務めさせていただくこととなりました。改めて、与えられた使命と責任の大きさを実感しているところで

す。
本会では「つないでキラリ☆まち・ひと・えがお。」をコーポレートスローガンに、中期計画である「第3次ふくい地域福祉プラン21」に基づき実践をすすめています。

特に、昨年は、県社協が創設されて60周年の節目を迎え、「しあわせ紡いで60年。感謝（ありがとう）、そして出発（たびだち）」を総合テーマに、これまで先達や県民の皆様とともに積み上げてきた「ふくいのふくし」を振り返る機会を得ました。

その意味で、本年は次の10年、20年へと新たな歩みを進めていく大変重要な年だと認識しているところです。

今期も、たくさんの人やさまざまな想いをつなぎ、「ふくいのふくし」に「いっぽいっぽ」の足跡を残すよう役職員一丸となって実践に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



役員名簿

〔任期〕平成24年5月30日から平成26年5月29日まで

〈敬称略〉



会長

清川 忠

福井商工会議所副会頭



副会長

村上 哲雄

敦賀市社会福祉協議会会長



副会長

齋藤 多久馬

鯖江市社会福祉協議会会長



副会長

伊藤 靖朗

福井県中小企業共済協同組合理事長



専務理事

品谷 義雄

元福井県健康福祉部参与



理事

吉田 敏貢

福井市社会福祉協議会会長



理事

宮崎 泰治

越前町社会福祉協議会会長



理事

納村 亮

福井県心身障害者福祉団体連合会長



理事

清水 武士

福井県民生委員児童委員協議会副会長



理事

吉村 春男

福井県身体障害者福祉連合会会長



理事

岡崎 和恵

福井県母子寡婦福祉連合会会長



理事

坂野 良治

福井県老人クラブ連合会会長



理事

竹内 文憲

福井県民間保育園連盟会長



理事

木村 洋子

福井県老人福祉施設協議会会長



理事

梅田 武彦

福井県健康福祉部地域福祉課長



理事

吉村 義昭

福井市福祉保健部長



監事
河原 はつ子
永平寺町社会福祉協議会副会長



監事
西村 重稀
仁愛大学教授



監事
山崎 利一
山崎総合事務所長



理事
毛利 俊則
(株)福井銀行取締役会長



理事
坪田 清則
福井放送(株)代表取締役会長



理事
吉田 真士
(株)福井新聞社代表取締役社長



理事
細川 豊子
福井県婦人福祉協議会会長



理事
大中 正光
福井県医師会会長

評議員名簿

[任期] 平成 24 年 4 月 20 日から平成 26 年 4 月 19 日まで

〈敬称略〉

No.	選出区分	氏 名	選出母体・役職
1	社会福祉施設・社会事業・福祉団体	山 口 利 明	福井県身体障害者児援護施設連絡協議会長
2		木 越 直 昭	福井県児童養護施設連絡協議会長
3		白 藤 昭 武	福井県社会福祉施設経営者協議会会長
4		山 口 恵 子	福井県社会福祉協議会保育部会保育士会長
5		木 間 幸 生	福井県知的障害者福祉協会会長
6		澤 田 夏 彦	福井県民間保育園連盟副会長
7	民生委員・社会福祉者・この代表者	畑 矢 雅 理	福井県点字図書館長
8		佐 藤 正 秀	福井県聴力障害者福祉協会事務局長
9	民生委員・社会福祉者・この代表者	丸 子 要	あわら市民生委員児童委員協議会連合会長
10		瀬 川 順 男	大野市民生委員児童委員協議会長
11		泰圓澄 法 嗣	越前市民生委員児童委員協議会連合会長
12		赤 崎 雅 博	小浜市民生委員協議会連合会長
13		田 中 眞佐子	永平寺町民生委員児童委員協議会会長
14		内 藤 忠 雄	池田町民生委員児童委員協議会長
15		駒 野 傳一郎	越前町民生委員児童委員協議会長
16		大 角 一 馬	高浜町民生委員児童委員協議会長
17		高 橋 ハルミ	福井県地域活動連絡協議会副会長
18		田 中 治 男	福井県更生保護事業協会事務局長
19		半 澤 毅	福井県老人クラブ連合会常務理事
20		荻 原 昭 人	福井県ボランティアセンター運営委員長
21		郡 谷 いさを	福井市赤十字奉仕団長
22	市町社会福祉協議会	青 木 甫	坂井市社会福祉協議会会長
23		佐 野 瑞 圓	勝山市社会福祉協議会会長

No.	選出区分	氏 名	選出母体・役職
24	市町社会福祉協議会	藤 谷 家 也	越前市社会福祉協議会会長
25		山 岸 博 之	小浜市社会福祉協議会理事長
26		金 森 関 治	大野市社会福祉協議会会長
27		永 善 信 行	永平寺町社会福祉協議会会長
28		齋 藤 市左衛門	南越前町社会福祉協議会会長
29		江 端 龍 男	池田町社会福祉協議会会長
30		窪 清 行	美浜町社会福祉協議会会長
31		内 谷 周 一	高浜町社会福祉協議会会長
32		荒 木 茂 夫	おおい町社会福祉協議会会長
33		塚 本 新 一	若狭町社会福祉協議会会長
34	公務員・団体・学識経験者	小 林 高 正	福井県健康福祉部長寿福祉課長
35		天 谷 泰 公	福井県健康福祉部障害福祉課長
36		大 塚 健 治	福井県健康福祉部子ども家庭課長
37		中 田 勝 己	福井県健康福祉部健康増進課長
38		木 下 治太夫	福井健康福祉センター所長
39		石 丸 美千代	福井県看護協会会長
40		梅 澤 順 一	福井県市長会事務局長
41		吉 田 康 彦	福井県町村会事務局長
42		檜 原 弘 樹	福井県民生活協同組合常務理事
43		藤 沢 直 文	福井県生命保険協会会長
44		荒 本 秀 一	(株)アラモト代表取締役
45		田 村 洋 子	福井県連合婦人会会長

県市町社協会長会が本格始動

平成24年度「総会」開催される

県社協と17市町社協の会長で組織する「福井県市町社会福祉協議会会長会」（平成23年1月設立）の平成24年度総会が、去る4月17日（火）に開催され、今年度の本格的な活動がスタートしました。

◆前年度事業活動の総括

総会では、平成23年度における事業報告と収支決算（監査報告を含む）が諮られ、全会一致で承認されました。

特に、昨年度は「東日本大震災」への対応として、現地（岩手県陸前高田市）への職員派遣（延べ898名）と約2,000名の県内社協役員から募った活動支援金の寄附（同市社協に対して1,175千円）などで、日頃の県内社協（職員）の強力なネットワーク力が発揮されたことなどが確認されました。

◆オール社協による活動の展開

本格的に活動を展開する平成24年度は、被災地支援に関わる具体的な活動を継続することや例会の実施、さらには社協の組織経営や地域福祉を中心とする事業活動に関わる政策提言活動も積極的に展開していくことが確認されています。



各社協の組織形態や環境、抱える課題が多様化する一方で、「オール社協」だから成し得ることをどう「見える化」していくかに重点を置いた新たな1年がスタートしています。

平成24年度の市町社協課題解決戦略会議がスタート

生活困窮者支援や孤立防止に向けた社協の取り組みを協議

福井県社協では、平成22年度から、市町社協が抱える経営課題や地域福祉を取り巻く様々な課題について、県域での取り組み方針や解決策を打ち出していく事務局長レベルの戦略会議を設置しています。

5月16日（水）に開催された今年度の第1回目となる会議では、4月に全国社協において開催された都道府県・指定都市社協業務部課所長会議での国や全国社協の説明を踏まえ、「社会保障・税一体改革」における貧困・格差対策の強化の方向性の中で、社協としての存在感や活動の成果が問われている現状と社協の業界として、行動を起こしていくことなどが確認されました。

その後の協議では、福祉事務所と地域包括支援センターとの協働による見守りシステムの整備や、過疎地における廃校を利用した居場所づくりなど、生活困窮者支援や孤立防止に対する各市町社協の取り組みが各事務局長から報告されました。

また、今後の取り組みとして、地域における相談機能の強化や、小地域を基盤とした支援ネットワークづくり、緊急的に支援が必要な人への

制度外での柔軟な対応の必要性等が協議されました。



平成24年度第1回戦略会議の様子

本戦略会議は、年5回程度を目途に今後も定期的に開催され、社協を取り巻く動向・情勢についての最新情報を共有しながら、各市町社協が抱える課題を足元から解決していくためのより実践的な協議を積み重ねていくこととしています。

賛助会員名簿

お寄せいただきました会費は、一人ひとりの尊厳が守られる社会構築を目指し、地域福祉を総合的に推進するさまざまな活動に役立てさせていただきます。

平成 24 年 1 月 11 日～5 月 31 日【敬称略・50 音順】

市町名	名 称	市町名	名 称	市町名	名 称
福井市	アルマ千寿	福井市	木村興業株式会社	福井市	屋敷事務用品
福井市	井上商事株式会社	福井市	清川メッキ工業株式会社	福井市	山本編集室
福井市	医療法人 健康会 嶋田病院	福井市	銀扇福井株式会社	福井市	有限会社奥義肢製作所
福井市	医療法人 厚生会	福井市	久我元	福井市	有限会社ケア・フレンズ
福井市	医療法人 幸若会 打波外科胃腸科	福井市	郡谷いさを	福井市	有限会社康守商会
福井市	栄月株式会社	福井市	小林電工株式会社	福井市	吉岡幸株式会社
福井市	SMBC 日興証券株式会社 福井支店	福井市	コマツサービスエース株式会社	福井市	陸整自動車株式会社
福井市	江守商事株式会社	福井市	財団法人 日本電信電話ユーザ協会福井地区協会	福井市	隆機工業株式会社
福井市	大島産業株式会社	福井市	財団法人 福井市ふれあい公社	福井市	レントオール福井株式会社
福井市	大原学園 福井校	福井市	財団法人 松原病院	福井市	和田保育園
福井市	大脇佳代	福井市	酒井電機株式会社	鯖江市	医療法人 日野会 谷川病院
福井市	奥武建設工業株式会社	福井市	サカセ化学工業株式会社	鯖江市	株式会社ウォンツ
福井市	学校法人 金井学園	福井市	社会福祉法人 足羽福祉会	鯖江市	福井トータルケア株式会社
福井市	学校法人 福井仁愛学園	福井市	社会福祉法人 寿の会	越前市	医療法人 笠原病院
福井市	株式会社秋吉グループ本部	福井市	社団法人 福井県ビルメンテナンス協会	越前市	医療法人 白百合会 武生記念病院
福井市	株式会社アタゴ	福井市	スバル食品株式会社	越前市	医療法人 林病院
福井市	株式会社アド・プロ	福井市	創文堂印刷株式会社	越前市	オリオン電機株式会社
福井市	株式会社安部書店	福井市	大栄株式会社	越前市	株式会社関組
福井市	株式会社ウラココミュニケーションズ	福井市	大和電建株式会社	越前市	株式会社テクニカフクイ
福井市	株式会社岡田組	福井市	だるま屋商事株式会社	越前市	株式会社オーシン M・L・P
福井市	株式会社カワグチ	福井市	中部インテリア株式会社	越前市	シルバーハイツ武生
福井市	株式会社酒井染料商会	福井市	トップツアー株式会社 福井支店	越前市	福井鉄道株式会社
福井市	株式会社シー・ディー・アイ	福井市	轟産業株式会社	越前市	大和建設株式会社
福井市	株式会社 JTB 中部	福井市	トヨタ L&F 福井株式会社	敦賀市	医療法人 積善会 猪原病院
福井市	株式会社昭和田	福井市	日華化学株式会社	敦賀市	医療法人 敦賀温泉病院
福井市	株式会社田中化学研究所	福井市	新田胃腸科放射線科病院	敦賀市	株式会社ミヤゲン
福井市	株式会社トヨタレンタリース福井	福井市	ネットトヨタ福井株式会社	敦賀市	株式会社かくだ 敦賀ケアセンターかくだ
福井市	株式会社ナイガイ	福井市	光タクシー有限公司	坂井市	医療法人 三真会 真田クリニック
福井市	株式会社ナレッジウエア	福井市	平田鉄工株式会社	坂井市	医療法人 慈恩会 宮崎病院
福井市	株式会社にしばた	福井市	福井新世紀ケアサービス	坂井市	株式会社サカイ・ミート
福井市	株式会社日刊県民福井	福井市	福井県環境保全協業組合	坂井市	株式会社半澤組
福井市	株式会社野村塗装店	福井市	福井県済生会病院	坂井市	株式会社三和商会
福井市	株式会社端野メディカル	福井市	福井県生活協同組合連合会	坂井市	サンキ株式会社
福井市	株式会社福井観光トラベルサービス	福井市	福井システムズ株式会社	坂井市	社会福祉法人 坂井来春会
福井市	株式会社福井銀行	福井市	福井総合病院	坂井市	第一織物株式会社
福井市	株式会社福井建材社	福井市	フクイボウ株式会社	坂井市	前田工織株式会社
福井市	株式会社フクイ工芸	福井市	福井ヤクルト販売株式会社	あわら市	坂井地区医師会
福井市	株式会社福邦銀行	福井市	福泉信用組合	大野市	デイホームひだまりでい
福井市	株式会社ホクシン	福井市	藤田製本印刷株式会社	勝山市	サンビューかつやま
福井市	株式会社ミツノリ	福井市	本間久子	小浜市	小浜海産物株式会社
福井市	株式会社名響社	福井市	前田建設工業株式会社 福井営業所	小浜市	小浜製綱株式会社
福井市	株式会社八木熊	福井市	益茂証券株式会社	小浜市	若狭建設工業株式会社
福井市	株式会社山崎塗装店	福井市	三浦重隆	南条郡南越前町	医療法人 加藤医院
福井市	株式会社ヤマシタコーポレーション福井営業所	福井市	ミカミ看板	丹生郡越前町	丹生ケアセンターひまわり荘
福井市	株式会社ユアーズホテルフクイ	福井市	水野公文堂	三方上中郡若狭町	介護老人保健施設 ゆなみ
福井市	株式会社リンクコーポレーション	福井市	三谷不動産株式会社	三方上中郡若狭町	株式会社前田産業
福井市	上屋敷工業株式会社	福井市	ムラセ看工店	大飯郡高浜町	高浜社会保険介護老人保健施設 サンビュー高浜
福井市	河和田屋印刷株式会社	福井市	メイブルケア有限公司	東大阪市	白石薬品株式会社

平成 23 年度 福井県社会福祉協議会苦情受付報告

苦情の概要	経過と対応
広報誌「ふくい社会福祉」で紹介された助成事業の中に、以前その商法等で苦情が多いとされていた法人を母体とする団体が実施する助成事業が掲載されていた。 本来消費者側に立つべき社会福祉協議会であるにも関わらず広報誌に掲載することは問題ではないか。 〔平成 24 年 3 月 10 日〕匿名（電子メール）	県社協福祉サービス苦情解決規程に基づき、苦情解決責任者および第三者委員（3 名）に本件を報告。併せて、当該助成事業（団体）に係る苦情等の現況を関係機関に照会（照会の時点では明らかな問題として認識できる状況には至らなかった）。 しかし、広報誌掲載にあたって事前の情報収集が十分でなかった点は否めないため、ご指摘を踏まえ、今後は掲載する助成事業（団体）に関して適切な情報収集と掲載に際しての配慮を行うこととする。

全国会議の参加者を募集中

最終締め切り
6月4日

来る6月14日、15日に、赤い羽根全国ミーティングを小浜市で開催することになりました。このミーティングは、年に1回、全国の共同募金関係者等が集い、日頃の取組みや実践等について共有し、共同募金の役割や可能性について話し合う会議です。共同募金関係者はもとより関心のある方ならどなたでも参加できます。

1 日 時

平成24年6月14日(木) 13:30 から 15日(金) 12:30 まで
※プレイベント(自由参加)を6月13日(水)及び14日(木) 午前中に開催

2 会 場

ホテルアーバンポート周辺施設(〒917-0051 福井県小浜市白鳥 72-1)

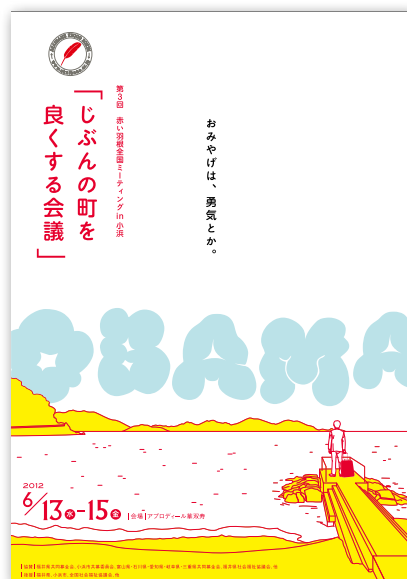
3 主 催

社会福祉法人中央共同募金会、「第3回赤い羽根全国ミーティング IN 小浜」実行委員会

4 参加費 1,000 円(※両日参加は 2,000 円。県外参加者は 6,000 円)

(詳しい内容やお問合せ先)

福井県共同募金会ホームページ(<http://akaihane-fukui.jp/>)から申し込んでいただくか、福井県共同募金会事務局 TEL:0776-22-1657 担当:分野(わけの)までご連絡ください※参加定員がありますのでお早めにお申込みください。



ほやほや出前研修

「外部研修に職員を派遣したいけど、なかなか勤務の調整がつかなくて…」

そんな声にお応えして、県社協では、新任職員研修を出前で実施します！

目 的	県内事業所の新任職員に対して、事業所に近い場所で研修を実施し人材育成を図ります。				
対 象	小規模事業所や研修受講の人的余裕がない事業所の新任職員 5～10人程度 種別不問、複数事業所による同時開催も可				
実施期間	平成24年7月～10月 （開催日時はお相談のうえ、決定します。）				
内 容	基本コース課程Ⅰまたは課程Ⅱ カリキュラム案				
	◆基本コース 8時間（講義・演習2時間×3日、面談会2時間）				
	◆会場は、事業所内や公民館等ご指定の場所へ参ります。				
	日 程	課程Ⅰ 内容	講師	課程Ⅱ 内容	講 師
	1日目	福祉サービスの実践	県社協	コミュニケーション	県社協
	2日目	組織活動（ルールの理解）	県社協	チームワークとリーダーシップ	県社協
	3日目	職場の基本動作（接遇）	外部講師	能力開発	県社協
	4日目	気づきのための面談会	県社協	気づきのための面談会	県社協
費 用	基本コース1回 40,000円。他にテキストとワークシート代をご負担ください。 テキストは、福祉職員研修テキスト 基礎編（全社協）1冊840円 新任職員研修課程 ワークシート（全社協）1冊690円				

お気軽にお問合せください。 福祉の人づくり支援課まで Tel 0776-21-2294

寄贈・寄附

4月18日(水) 株式会社 ムラタ 様(福井市) 車いす 5台
贈呈先 さくらが丘デイサービスセンター様
たんぽぽ苑デイサービスセンター様
あさむつ苑デイサービスセンター様
デイサービスセンターいろいろ様
吉野デイサービスセンターほか様



5月14日(月)
公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー福井協会 様
福祉巡回車(乗用車)1台
贈呈先 社会福祉法人 鯖江市社会福祉協議会様



5月22日(火)
一般社団法人リプレット基金事業財団様
自転車10台 贈呈先 県内児童養護施設